# 第 3 学 年 国語科 学習指導案

- 1 単元 「新聞記事を読み比べよう」
- 2 指導観
  - 現代は情報化社会といわれる。携帯電話、インターネットの普及により、私たちのだれもが、情報の発信者、受信者になる時代となっている。このような情報化社会においては、多くの情報の中から必要な情報を選び取り、活用していく力が必要不可欠である。同時に、情報を読み取る際は、得た情報は、「事実そのもの」ではなく、報道主体の主観によって選択され構成された事実であるということを認識しておくことが重要である。私たちは、真実性がどこにあるのかを確かめながら、情報を主体的に読み取っていく姿勢を身につけておくことが求められている。

本単元は、メディアの中でも重要な位置を占める新聞記事を読み比べることによって、同じ事実を対象としていても、新聞社や記者により伝え方が異なることに気付かせようとするものである。また、時事的な問題の論説を読むことで、社会的な事象に関して、関心を喚起することも期待するものである。

- 指導にあたっては、まず、新聞を見て、新聞の紙面構成の特徴を考えさせる。そして、「見出し」「リード文」「本文」「写真」という新聞記事の各要素や、その役割について理解させる。また、新聞社によって取り上げる事象やそれぞれの事象の重み付けに違いがあることを理解させる。次に、新聞記事の内容に注目し、読み比べを行う。最後に、三社の社説の内容を整理させ、それぞれの記事の執筆者の主張を考えさせる。以上のような学習を通して、書き手の意図により出来事の伝わり方が大きく変わってくることを学ばせる。

3つの授業改善のポイントの視点からは、新聞の紙面構成など、新聞の基本的な読み方を教え、生徒が新聞記事を比較しながら主体的に読み取っていけるように指導していきたい。

#### 3 単元目標

<u>5                                    </u>	
観点	評 価 規 準
国 語 へ の	○新聞記事の違いに関心をもち、進んで学習に取り組もうとし
関心・意欲・態度	ている。
話す・聞く能力	
書く能力	○3つの社説を読み比べ、気付いたことを書くことができる。
	○3つの記事を読み比べ、情報内容をまとめることができる。
読む能力	○ 3 つの社説の表現のしかたや文章の特徴に注意して読み比べ, それぞれの主張をまとめることができる。
言語についての	○新聞の紙面構成の特徴や記事の各要素の役割を理解している。
知識・理解・技能	○紙面に取り上げられている項目を表に整理することができている。

- 4 単元の指導・評価計画 単元の配当時間:3時間
  - ※「指導上の留意点」における①②③:3つの授業改善のポイントに係る手だて
    - ①「教えること」と「学ばせること」を区別した手だて
    - ②学習過程の要所で「考えを書くこと」を大切にした手だて
    - ③学習したことの「まとめ」と「ふり返り」を徹底した手だて
    - ●:家庭学習の課題を生かした手だて
    - 〇:一般的な手だて
  - ※「評価規準(評価方法)」における観点

関:国語への関心・意欲・態度 話:話す・聞く能力 書:書く能力 読:読む能力 言:言語についての知識・理解・技能 ※主な指導事項:2,3年 C ウ

※	主な時	指導事項: 学習活動		<u>C ウ</u> 指導上の留意点 評価規準(	評価方法)
1	<b>1</b>	<ul><li>○ 新特社げれけと のをよ事事違理の のをよ事事違理段</li><li>(1)</li></ul>	氏口ったないばず、大口ったないできないです。 成新りれみる。の聞上ぞ付こ	新聞の活用状況について、簡単な質問をし、挙手で回答させる。また、新聞についての知識をクイズ形式で問い、生徒の意識を高め、実態を把握する。	<u> </u>
		認(2)のを (3)み面内(4)かつ(5)あ (5)あ (5)あ	知 紙ぞれ理れるえ の,る 面れてすの印る 新トる 面れてすの印る 新トでのいる紙象。 聞ッ	割ををして、	各てトりをでトのをて要い分上表き分紙進い素る析げにて析面んるの。)ら整い)かで。役 れ理る ら考
2 本時	1	<ul><li>もか</li><li>3 比違数な</li></ul>	共通の は は は り と 、 較 っ 切 と り た い 取 大 り て り て り て り て り て り て り て り て り て り	記事として取り上げるか、おって取り上げるかがあっているででを理解される。 学校の新聞を読む際、複数・のでででででででである。 関連を記述している。 のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	
3	1	す。 (2)3つの 通点とれ 見する。 ○3社の者	きで書き出 記事の共 目違点を発 上説の内容	ることが (プリン )受け取る印象,書き手が注目 しているもの,使われている 関 すすんで	内容をまとめできる。 で分析) 新聞記し までい
		れの新聞を (1) 説」知説ない。 (2) 社かるれ主 (3) で (3) で	受割につい 読み、大 内容を理解	<ul> <li>新聞社としての意見を述べる欄であることを理解させる。</li> <li>難しい語句や表現については、適宜説明を入れる。</li> <li>「~したい」「~、きである」などの表現や、「などの断定の表現に注意させる。</li> </ul>	

	(4)線を引いたとこ ろを中心に,各社 の主張を箇条書き でまとめる。			3 つの社説の表現のしかたや文章の特徴に注意して読み比べ, それでれの主張をまとめている。
	(5)3つの社説を読 み比べることで気 付いたことを書	○書く時間を十分にとる。	書	(プリント分析) 3 つの社説を読み比べ,気付いたことを書いている。 (プリント分析)

5 本時 平成22年9月 日(曜日)第 校時 計画3時間中の2

第3学年教室にて

(1) 本時の主眼

○3つの記事を読み比べ、共通点と相違点を明らかにし、情報内容をまとめることができる。(読む能力)

# (2) 本時の指導観

前時に生徒は、新聞の紙面構成の特徴を知り、「見出し」「リード文」「本文」などの各要素について学んだ。また、同じ日の新聞であっても、新聞社によって、何を取り上げるのかや、その重み付けに差があることを学んだ。 本時は、三社の新聞記事を、受け取る印象、書き手が注目しているもの、使われてい

本時は、三社の新聞記事を、受け取る印象、書き手が注目しているもの、使われている言葉、事実の取り上げ方などの視点からしっかりと分析させる。これによって、同じ事柄であっても、取り上げ方に差異があることに気付かせたい。

事柄であっても、取り上げ方に差異があることに気付かせたい。 さらに、新聞のみならず、すべての情報は発信者の意図が含まれているため、ひとつの情報を受けて鵜呑みにするのではなく、複数の情報を比較しながら読み取っていくことの大切さを学ばせたい。

## (3)準備

教師・・・新聞記事, プリント生徒・・・教科書, ノート

### 6 過程

0		指導上の留意点 評価規準	(評価方法) 形態	配時		
1	前時の学習内容を確認の一方ででは、一方では、一方ででは、一方では、一方では、一方では、一方では、一方で	○前時の内容を思い出させ、本時では、新聞記事の内容に注目し、それぞれをより深く読み比べることを伝える。	全体	3		
	めあて:新聞記事を読み比べて、共通点と相違点を見つけよう。					
2	記事を読んで、内容を理解する。		全体	1 0		
3	記事の内容を、箇条書きで書き出す。	あることに気付かせる。 み比	の記事を読 べ,情報内 まとめてい			
4	読み比べた内容を発表する。	関: すす 事を	ント分析   んで新聞記 3~4人 読み比べよ	9		
5	3 つの記事の共通点と 相違点を発見する。		している。 目チェック) 全体	1 0		
6	複数の記事を読み比べることで、より深くその問題を知ることができることに気づく。	<ul><li>テレビの報道を複数見 比べて、各社の報道の 違いをαノートに書く よう指示する。</li></ul>	全体	3		